

ふれあい

ボランティアだより合併号

No. 125

令和6年2月

発行所

社会福祉法人

太子町社会福祉協議会

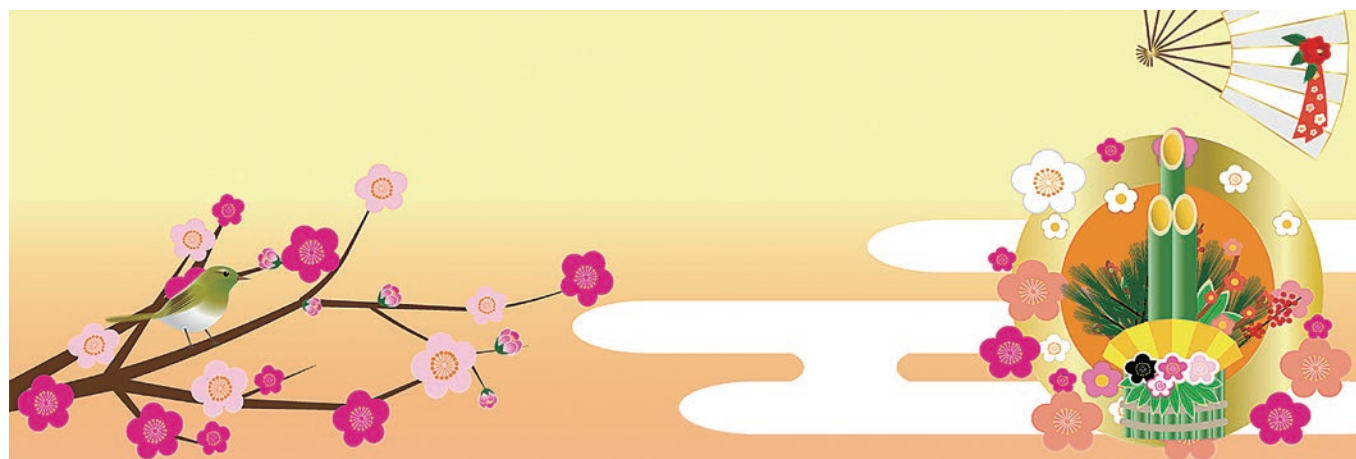
〒583-0991

大阪府南河内郡太子町春日963-1
太子町立総合福祉センター内

TEL 0721-98-1311

FAX 0721-98-2111

<http://www.taishi-syakyo.net>



～.～.～. 新年のごあいさつ .～.～.～



社会福祉法人
太子町社会福祉協議会

会長 土井 武久

皆様におかれましては、令和6年の輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は本会に対しまして温かいご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

誰もが新しい年の平穏と多幸を願う元日に震度7の『能登半島地震』が発生し、大規模火災や津波被害も発生するなど多くの建物が損壊し、土砂崩れや道路の損壊で輸送路が寸断され、救援活動も難航しております。地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧と復興を心よりご祈念申し上げます。

さて、昨年の5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へと移行され、行事やイベントがほぼ従来通りの形で開催され、住民の交流や地域の活気がようやく元に戻って来たことをうれしく思います。

しかし、長年住民の生活を支えて頂いておりました金剛バスが12月20日に全線廃止となり、急遽、町による新たな地域公共交通を運行して頂きましたことに感謝申し上げます。今後も持続可能な地域公共交通となるよう

住民一人一人の理解と協力が必要となっております。

こうした中、国際情勢の緊迫に端を発した物価高騰により、本町でも生活に困窮する人が増え、少子高齢化が一段と進み、ひとり暮らし世帯の増加、雇用形態の変化などから家族や地域での生活様式が変化し、地域社会のつながりが希薄化するなど、私たちの生活課題が更に複雑・多様化する中、住民が抱える困難な問題をワンストップで受け止める「包括的な支援体制」の整備が進められています。これらの多様な福祉課題に対応していくには、日頃からのネットワークづくりが重要となり、誰もが地域社会の一員として生き生きと自立した生活を送ることが出来るよう、ともに協力し、ともに生きる地域社会である「地域共生社会の実現」の取り組みを更に推し進める必要があります。その為にも町行政をはじめ、各地区福祉委員会、ボランティア団体、各福祉団体、福祉施設等の関係機関とも連携を密にし、役職員が一丸となって、これからの地域福祉活動や各種福祉サービスの充実強化に努めて事業展開していきたいと思っておりますので、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして今年一年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年の新年を迎えて



太子町長
田中 祐二

皆さんにおかれましては、令和6年の新春を健やかに過ごしのことと存じます。

本来ならばお祝いの言葉を申し上げるところですが、皆さんご存知のように今年の1月1日に能登半島地震が発生しまして、石川県を中心に甚大な被害が出ております。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。このような状況を鑑み日本人の美德である助け合いの精神のもと全国から支援が寄せられております。太子町も被災地に職員派遣等を行っております。情けは人の為ならず本町でも何時同じことが起こるかもしれないという危

機感を持ちつつ、出来るだけの支援を行いたいと考えております。皆さんにおかれましては常に災害に対する備えを怠らないようお願い致します。

さて新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類へと変更になり、世の中を覆っていた厚い雲の間から漸く陽射しが差し込んできた思いです。これまで人と人との関わりが制限される中、社会福祉協議会の活動も制約を受けてきました。これから確実に訪れる人口減少・超高齢化社会を迎えるにあたり、先程の助け合いの精神で人とのふれあいを大切にす

る社協の活動は益々重要となります。太子町としてもそれらの活動を支援しつつ、誰もが生き生きとそして誰もが住みやすい街を目指してまいりますので、皆さんのご協力をお願い致します。

結びとしまして、太子町社会福祉協議会の益々のご発展と皆さんのご健康とご多幸を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

社協へのご支援ありがとうございました

令和5年9月～12月までの間に、社協へご寄付いただきました皆様

(単位：円)

寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額	寄付者芳名	金額
匿名	5,000	上ノ太子みかん園	10,000	市橋 平三郎	10,000
植木 秀一	10,000	匿名	10,000	上野 逸士	10,000
貴治 博文	10,000	松田 浩一	10,000	角田 健	10,000
上野 哲	20,000	西方 院	10,000	匿名	10,000
森田 泰子	10,000	岸村 博次	10,000	木匠 康友	10,000

(順不同・敬称略)

車イス移動車『ふれあい号』貸し出し事業を実施しています(利用料無料)

太子町社協では、歩行が困難な高齢者・障がい者の方々を対象に『ふれあい号』車イス移動車(軽自動車)の貸し出しを行っています。

対象者 太子町に居住されていて、車イスを利用している為一般乗用車への移乗が困難な方

利用回数 1回につき3日まで(1ヶ月に2回まで)

申し込み 車両の空き状況を確認のうえ、貸出申請書に以下の書類を添付し利用の前日までに社協事務局までお申し込みください。

(添付書類) ①利用者(車イスを利用されている方)の現住所が確認できる書類の写し

②運転される方の運転免許証の写し

その他 運転者は、利用者の親族の方で、3年以上の運転経験をお持ちの方とさせていただきます。



※詳しくは、太子町社会福祉協議会事務局(☎98-1311)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました。

令和5年10月1日より皆様にご協力いただきました「赤い羽根共同募金」はおかげさまで下記の通りの募金を集めることができました。集まりました募金は、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、令和6年度に社会福祉協議会をはじめとした、府内の民間社会福祉事業に配分されます。

令和5年度 赤い羽根共同募金実績一覧

(単位：円)

町 名	金 額	町 名	金 額	町 名	金 額	町 名	金 額	種 別	金 額
向 少 路	23,000	新 屋 敷	10,500	栄 町	10,000	東 條	27,000	戸別募金計	756,600
中 大 道	19,000	西 仲 町	18,500	太 子 ケ 丘	50,000	永 田	20,000	学校募金計	76,237
内 之 町	14,000	東 町	14,500	磯 長 台	36,100	西	10,000	職域募金計	75,014
西 之 口	19,500	上 之 町	19,500	春 日 丘	9,000	佃	19,500	募 金 箱 計	20,928
昭 和 町	28,000	分 田 町	8,500	第3太子ヶ丘	10,000	下 之 町	10,000	バッジ募金計	29,500
新 昭 和 町	18,500	旭 町	11,000	緑 ケ 丘	12,500	い わ き 台	20,000		
伽 山	22,000	平 和 町	22,500	陵 西 台	10,000	畑	17,000		
太 陽 ケ 丘	27,500	北 町	12,000	中 山 台	7,000	葵	7,000		
太 井 川 町	15,000	北 仲 町	10,000	聖和台連合会	30,000	篤志家芳名 金 額			
桜川自治会	13,500	寿 町	11,500	大 道	20,000	上野 正和	5,000	合 計	958,279
葉 室	34,000	赤 坂 町	11,500	後 屋	42,500				

にちじょうせいかつ じ りつ し えん じ ぎょう

日常生活自立支援事業 ～あなたの暮らしを守るサービスです～

(旧：地域福祉権利擁護事業)

日常生活自立支援事業というむずかしい名前ですが、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などの支援を社会福祉協議会が行います。

- 福祉のサービスが利用できない（福祉サービス利用に必要な手続きを行います）

- お金のやりとりとに自信がない（福祉サービスの利用料を支払う手続きを行ったり、年金の振込みを確認したりします）
- 通帳の管理が心配（通帳や大切な書類をお預かりします）

詳しいことは、
太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお気軽に
お問い合わせください。



夜間のウォーキングに“反射タスキ”をお役立てください！

～ 安心・安全ウォーキング事業(反射タスキ配布(無償貸与)事業) ～

太子町社会福祉協議会では、日頃より健康のために町内をウォーキングされている方々に“反射タスキ”を配布（無償貸与）し、着用していただくことにより、自身の交通安全と健康に役立てていただき、さらには安全で住みよい地域づくりを確立するための地域の自主的な防犯活動につながっていくことを目的に、安心・安全ウォーキング事業を実施しています。

《配布対象者》

太子町に居住されていて事業の趣旨に賛同し継続的に活動していただける方。

※貸出申込書の提出をお願いします。（但し、活動を中止したときはタスキを返却していただきます。）

《そ の 他》

申込者が未成年の場合は、保護者の同意を必要とします。



詳しいことは、太子町社会福祉協議会事務局
(☎98-1311) までお問い合わせください。

太子町共同募金会からのお知らせ

地域歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました ～ 令和5年度“地域歳末たすけあい運動”実績報告～

昨年12月1日より実施いたしました”地域歳末たすけあい運動”に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ご協力いただきました募金により実施しました”地域歳末たすけあい運動配分事業”は下記のとおり、町内福祉施設や各福祉団体への配分のほか、車いす移動車『ふれあい号』の維持費用、いきいきサロンや高齢者交流サロンへの支援、生活困窮者への支援などにの歳末地域福祉推進運動へ配分させて頂きました。

次年度繰越金については、全額大阪府共同募金会へ送金させていただき、次年度に配分を受け地域福祉活動や防災関係事業費等に充当させていただきます。



〔募金内訳〕		〔配分内訳〕			
戸別募金	937,100円	町内福祉施設へ	201,152円	歳末地域福祉推進活動	1,087,940円
篤志募金	647,817円	保育園児・幼稚園児へのプレゼント	47,552円	生活困窮者への支援	60,000円
太子・葉室地区	120,000円	施設入所者等へのお見舞品	153,600円	いきいきサロンへの支援	230,000円
春日・聖和台地区	185,000円	福祉団体等へ	230,000円	歳末友愛訪問活動	50,000円
山田・畑地区	141,000円	身体障害者福祉協議会	50,000円	高齢者交流サロンへの支援	137,540円
団体その他	131,345円	母子寡婦福祉会	50,000円	ボランティアセンターへの支援	150,000円
太子町外	62,853円	手をつなぐ親の会	50,000円	車イス移動車貸出事業	290,400円
募金箱	7,619円	和光会	50,000円	太子町高齢者介護家族のつどいへの支援	10,000円
		献血推進協議会	30,000円	太子町中途障がい者の会への支援	10,000円
				障がい児者当事者会への支援	80,000円
				地域活性化事業	70,000円
				歳末たすけあい運動経費	19,923円
				次年度配分事業への繰越金	45,902円
募金合計	1,584,917円			配分合計	1,584,917円

令和5年度 地域歳末たすけあい募金 戸別募金一覧

(単位：円)

町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額	町名	金額
向少路	23,000	桜川自治会	13,500	平和町	22,500	第3太子ヶ丘	10,000	西	10,000
中大道	19,000	四季の街	10,000	北町	12,000	緑ヶ丘	12,500	佃	19,000
内之町	14,000	葉室	34,500	北仲町	10,000	陵西台	10,000	下之町	10,000
西之口	19,500	新屋敷	10,500	寿町	11,500	中山台	7,000	いわき台	30,000
昭和町	28,000	西仲町	18,500	赤坂町	11,500	聖和台連合会	150,000	畑	17,000
新昭和町	18,000	東町	14,500	栄町	10,000	大道路	30,000	若葉	8,000
伽山	22,000	上之町	19,500	太子ヶ丘	50,000	後屋	42,500	葵	7,000
太陽ヶ丘	27,500	分田町	8,500	磯長台	47,100	東條	27,000		
太井川町	15,000	旭町	11,000	春日丘	9,000	永田	37,000		

令和5年度 地域歳末たすけあい募金 篤志募金一覧

(単位：円)

篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額	篤志家芳名	募金額
新 家 緑	5,000	関 本 史 子	5,000	山 本 節 子	5,000
池 田 美智子	5,000	太子薬局 川村 洋子	5,000	吉 田 多美子	5,000
石 垣 正 之	10,000	田 代 祝 子	5,000	吉 田 弘 子	5,000
石 倉 正 勝	5,000	立 岡 千 賀	5,000	吉 田 美智子	5,000
伊 藤 勝 美	10,000	立 石 友 紀	5,000	林 光 寺	10,000
伊 庭 登美子	5,000	田 中 一 勲	10,000	森 義 昌	5,000
(有)好月堂 岩田輔斉	5,000	田 中 美佐江	5,000	匿 名	1,000
岩 田 順 子	5,000	田 中 美 幸	5,000	匿 名	5,000
植 木 道 代	5,000	辻 宅 一 博	5,000	匿 名	10,000
植 木 律 子	5,000	辻 本 佐和子	5,000	匿 名	772
上 田 克 治	5,000	つついクリニック	10,000	ボランティアグループ あじさい会	5,000
上 田 長 一	10,000	椿 元 成 佳	5,000	ボランティアグループ さくらクラブ	5,000
上 野 正 和	5,000	椿 元 千 秋	5,000	ボランティアグループ ビタミン	5,000
上 野 光 榮	10,000	土 井 武 久	20,000	ボランティアグループ ふきのとう	5,000
岡 田 順 一	5,000	仲 谷 佐多子	10,000	ボランティアグループ ポテサラクラブ	5,000
奥 田 隆	5,000	羽 田 妙 子	5,000	高齢者交流サロン 朝子庵	5,000
角 田 清	10,000	樋 口 邦 子	5,000	JA 大阪南太子支店	20,000
春 日 薬 局	5,000	藤 田 栄 子	5,000	町内社会福祉施設職員一同	21,643
金 谷 和 美	10,000	藤 田 博 誠	5,000	役 場 職 員 一 同	53,729
川 西 佳 子	5,000	増 田 範 子	5,000	社 協 職 員 一 同	5,201
川 村 文 月	5,000	松 井 育 子	5,000	大阪東部ヤクルト販売(株)	30,000
岸 本 浩 行	5,000	(有)松田紙工業 松田浩一	10,000	一般社団法人 富田林医師会	30,000
岸 本 宏 子	5,000	松の木保育園	5,000	東 友 会	2,853
北 山 信 行	5,000	松 井 史 郎	10,000	JA大阪南太子支店 募金箱	1,872
京 谷 肇	10,000	村 山 美佐子	5,000	JA 大阪南営農経済センター 募金箱	1
西 方 院	10,000	(有) 粉 山	10,000	JA 大阪南営農経済部 募金箱	3,152
阪 上 久 子	5,000	安 川 陽 子	5,000	磯長郵便局 募金箱	25
阪 本 喜久夫	5,000	山 内 嘉 代	5,000	太子町立総合福祉センター 募金箱	2,569
澤 田 清	5,000	山之内 ル ミ	5,000		
小 路 裕 紀	10,000	山 村 一 彦	10,000		

順不同・敬称略

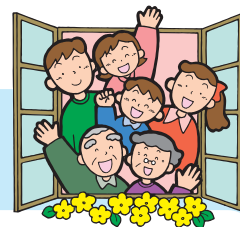
ご長寿 お祝い事業の お知らせ

太子町社会福祉協議会では、太子町に居住され、町会・自治会に加入（5年以上継続して加入）されている満90歳のお誕生日を迎えられた方に、ご長寿をお祝いしてお祝金（10,000円）を、また、満100歳のお誕生日を迎えられた方にはお祝金（30,000円）をお贈りしています。
該当される方は、太子町社会福祉協議会事務局

（☎98-1311）までお知らせください。

※お祝金の申請期限は、お誕生日を迎えられてから1年以内とさせていただきますのでご注意ください。





JA 大阪南様よりドローン2台の寄贈をいただきました

ドローンは、人が登るには危険な高所の確認ができ、災害時はもちろん、普段のちょっとした困りごとの時にも活躍します。太子町社会福祉協議会では、普段から使用できるよう、また身近に感じてもらえるように、ボランティア体験や職業体験など、様々な人に触れてもらえる機会を設けています。今回、JA 大阪南様から2台の寄贈をいただいたので、太子町社会福祉協議会では計3台のドローンを所有しています。ドローンのボランティアグループである宙屋でも活動を継続していますので、ご関心のある方はお気軽に太子町社会福祉協議会までご連絡ください。



ケアマネ連絡会・太子町施設連絡会合同研修会

太子町内のケアマネさんの情報交換の場であるケアマネ連絡会と、町内11施設の社会福祉法人が加盟している太子町社会福祉施設連絡会が合同で研修会を開催しました。富田林病院の吉松 MSW を講師に招き、病院との連携について学びを深めました。それ加えて、今後複雑化していくであろう様々な課題に対して、町内の様々な相談支援に関わる事業所が協力して取り組んでいこうという目的もあり、顔の見える関係づくりの第一歩目を踏み出すことができました。これからも、町内のいろいろな事業所が一丸となれるような事業を企画しようと考えています。



もち米の寄付

今年も住民さんからもち米の寄付を頂きました。町内の社会福祉法人に配分し、おはぎや赤飯を作られるとのことでした。コロナ禍でずいぶん遠のいてしまっていたお正月を味わういい機会を頂きました。本当にありがとうございました。



スマスマ×にじいろはうす

スマホ講座から派生したボランティアグループ「スマスマ」のみなさんで、交流サロンでのスマホ講座のサポートに行きました。同じ町内にも長年会えていなかった方との再会や、新しい人との交流などが生まれました。



地区福祉委員会合同研修会が開催されました

9月20日(水)役場万葉ホールにて地区福祉委員の皆さんを対象にした合同研修会が開催されました。富田林警察の方より、管内での孤独死の事例について、孤独死を少なくするために心がけて欲しいこと等についてのお話の後、地域の住民さんからもご近所づきあいがあったことで命が救われた事例などについてお話を聞き、理解を深めることができました。今一度ご近所づきあいの大切さについて福祉委員の皆さんで考えていただく機会となりました。



春日・聖和台地区福祉委員会管外研修

10月14日に春日・聖和台地区福祉委員会の管外研修で、和歌山県広川町の「稲村の火の館」を訪問しました。安政の大地震で起きた津波の際、村人同士の助け合いで多くの命を救われたという教訓を、館長さんからお聞きすることができました。地域で助け合うことの大切さ、防災・減災への備えを学びました。また午後からは令和5年9月2日にオープンした「道の駅サクアス」を訪問しました。普段は見れないところですが、非常時には防災の拠点となる官民連携施設で、およそ1,000人が1日過ごせる食料や毛布が備蓄されているそうです。



山田・畑地区福祉委員会管外研修

11月17日(火)山田・畑地区福祉委員会の地区福祉委員20名で管外研修に行ってきました。午前中は京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」に行きました。焼却炉やごみ発電、バイオガス化施設などを間近で見学し、午後からは宇治市にある源氏物語ミュージアムへ行って、2024年大河ドラマ「光る君へ」の源氏物語の華麗な世界に触れたあと平等院鳳凰堂を訪れました。紅葉が色づき始めた和らな日差しのもとでの研修でした。



太子・葉室地区福祉委員会管外研修会

10月17日(火)、太子・葉室地区福祉委員会の管外研修会が実施されました。

今回の研修会では、平和学習をテーマにして、京都府舞鶴市にある『舞鶴引揚記念館』を見学しました。第2次世界大戦後の旧満州からの引き上げの歴史について、極寒のシベリアでの抑留生活の史実について、語り部の方から詳しくお話を聞かせていただき、改めて平和の尊さについて学ぶことが出来ました。また午後からは、旧海軍の魚雷倉庫跡を活用した『赤レンガ博物館』や海上自衛隊の船が停泊する舞鶴港を散策し、大阪への帰路につきました。



山田・畑地区合同防災訓練

12月3日(日)に山田・畑地区合同防災訓練が行われました。参加者の皆さんも消防団に教えていただきながら、心肺蘇生法・AED操作、放水・消火訓練などを行いました。また婦人会さんによる炊き出しなどの体験、家庭や地域で用意できる防災備品の展示などもあり、実際に目にし、体験することで日頃から地域で協力して減災・防災に取り組む大切さを改めて知ることが出来ました。



春日・聖和台地区ふれあい広場

11月3日(金・祝)に松の木保育園でふれあい広場が開催されました。天気も良く、暑くいくらいの1日でしたが、今年度も10時のオープンと同時に行列ができ、地域のみなさんも楽しみにしていただいていたようです！午前中には予定していた食数も、ほとんど売り切れてしまうほど盛況で、地区福祉委員さんや来場者さんも笑顔にあふれた地域のイベントでした！また来年もそんな素敵な交流ができるイベントを大切にしていきたいですね♪



太子・葉室地区ふれあい広場

11月25日(土)、太子集会所において『太子・葉室地区ふれあい広場』が開催されました。

このふれあい広場は、地域の皆さんのふれあい交流を目的としたイベントで、今年も地区福祉委員さんによる模擬店がたくさん出店され、和光会による「わなげゲーム体験」なども行われました。午前10時の開会と同時に地域の子ども達や家族連れが多数来場され、地域の皆さんの交流がさらに深まった一日となりました。

ご協力いただきました地区福祉委員会、消防団、和光会の皆さま、当日ご来場いただいた皆さまありがとうございました。



ふれあいスポーツ大会が開催されました！

令和5年11月19日(日)に太子町障がい者ふれあいスポーツ大会が3年振りに開催され、太子町内の障がい者福祉施設(四天王寺太子学園、科長の郷、つばき作業所)、福祉団体(身体障害者福祉協議会、手をつなぐ親の会)より、100名近くの参加となりました！

今年度から各施設・団体対抗ではなく、紅白の2チームに分かれての競技となり、施設や団体を越えて交流を深める場にもなりました。

スポーツ大会の内容としては、大人気のたいしくんの見守る中、「たいしくん元気体操」での準備運動から始まり、大人から子どもまで楽しめるように工夫した競技をしながら参加したみなさん全員で身体を動かしました。プログラムは4種目。二人で協力して行うボール運びやペットボトルボーリング、絵柄と同じものを見つけるお買い物競争、チーム対抗玉入れなどなど…！

誰でも簡単に楽しめる種目で、参加している時はもちろん、応援する側になっても、「がんばれー！」「すごい！」と盛り上がりました。最後種目の玉入れが終わるまで紅組白組とも白熱しましたが、最終的には紅組が優勝して今年度のふれあいスポーツ大会は終了しました。

参加者同士の属性を越えたつながりが生まれ、また職員同士の交流も深められた素敵なスポーツ大会でした！



太子ロータリークラブから手をつなぐ親の会に寄付！

11月20日(火)長年にわたり、地域に奉仕活動をされている太子ロータリークラブさんより手をつなぐ親の会にご寄付を頂きました。頂いた寄付は障がいのある子どもたちが色んな体験や経験ができるような機会を増やし、子どももその親も笑顔になれるよう、大切に使用させていただきます。心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。



手をつなぐ親の会 管外研修

10月28日(土)手をつなぐ親の会で日帰り旅行に行ってきました。午前中は飛行機の離着陸を間近で見られる伊丹スカイパークに行き、お昼はビュッフェをお腹いっぱい食べたあと午後からはカップヌードルミュージアムに行きカップラーメンにマジックでイラストを書いたり、好きな具材をトッピングしたオリジナルカップラーメンを作りました。最後に五月山動物園に寄って動物園では珍しいウオンバットに会いに行きました。帰りのバスでは家族対抗のお土産くじ引きをし、朝から楽しい1日を過ごしました。



手をつなぐ親の会 クリスマス会

12月9日(土)手をつなぐ親の会のクリスマス会を開催しました。みんなでピザやからあげ、揚げたてのポテトを食べたあと、好きなお菓子をトッピングしたオリジナルのクリスマスパフェを作りました。午後からはハンドベルで演奏しているとたいしくんが来てくれてマジックを披露してくれました。その後、クリアファイルを使用したクリスマスツリー作りをしているとどこからか鈴の音が聞こえてきてサンタクロースが登場。子どもたちひとり一人にプレゼントを配ってくれました。「僕の家にも24日に来てね」といった可愛いお願いが叶いますように…♡



大阪府知事表彰

12月8日(金)太子町手をつなぐ親の会の会長である今川雅代氏が大阪府の吉村洋文知事に表彰されました。平成19年度から会の中心メンバーとして様々な会事業の企画運営に携わり、特に知的障がい者(児)の社会参加の促進や知的障がい者(児)の取り巻く福祉の増進や環境に尽力しています。吉村知事との2ショットです！



マルシェ de たいし× ふれあいフリーマーケット

11月26日(日)太子・和みの広場で、太子町ボランティアグループ連絡会の「ふれあいフリーマーケット」と太子町観光まちづくり協会の「マルシェ de たいし」と今回初めて合同でフリーマーケットを開催しました。フリーマーケットでは自宅で作わなくなった衣類や日用品などを持ち寄り、必要とする人の手に渡っていくことでものが長く使われ、ふれあいの場や地域の活性化だけでなくSDG s 目標達成に少しでも取り組みに貢献できればと思った思いから、飲食や物販などの様々なお店が出店し、ステージではたいしくんによる数字当てゲームやジャンケン大会など、たくさんの方で賑わいました。



社協に登録しているボランティアグループのほかに、和光会や手をつなぐ親の会も出店

11月26日(日)太子・和みのひろばで開催されたフリーマーケットに手をつなぐ親の会の会員さんでバザー&綿菓子を出店しました。毎年、日帰旅行で借りる大型バスの費用は負担も大きく、食器や子どもたちの着れなくなった洋服、使わなくなったおもちゃなどを売って少しでも会の運営費に充てることができればといった思いから出店に至りました。綿菓子もフリマ終了時間の最後まで列ができ、会のことを知ってもらえる機会にもなりましたし、会員さん同士の交流もあつたりと充実した1日となりました。



ボランティア連絡会社会見学

9月27日(水)太子町社協に登録頂いているボランティアのみなさん総勢56名で大型バス2台を借りて4年ぶりに社会見学に行ってきました。最初に滋賀県の信楽町へ行き、たぬぎをかたどった可愛い貯金箱に絵付けをしました。お皿やコップに絵付け経験はあってもたぬぎに色付けは初体験の方も多かったはず…！お昼からは伝統産業会館で信楽の歴史や伝統のお話を伺ったあとは、ルーブル美術館のガラスのピラミッドで知られる建築士が設計したMIHOミュージアムに行ってきました。まだまだ暑さが厳しい時でしたがコロナ禍で関わりが減りつつあったボランティアさんたちと久しぶりに顔を合せて交流を深める機会となりました。



運転協力者講習会を実施しました

11月15日(水)～16日(木)の2日間、山田集会所にて国土交通省認定講習としての『移動・送迎サービス運転協力者講習会』を開催し、12名の参加がありました。この講習会は、受講生の方々に移動・送迎に関する知識と技術を学んでいただき、町内での運転ボランティアとして活躍して頂けたらと毎年開催されています。

1日目は、移動・送迎サービスに係る座学について、2日目は、車いすの操作方法やアイマスク体験、実際に車両を運転しての実技演習などが行われ、参加者全員が無事に修了証を受けられました。



太子中学校から職業体験に来てくれました！

10月26日(木)～27日(金)の2日間、太子中学校の生徒さんが職業体験学習ということで、太子町社会福祉協議会へ来てくれました。1日目は高齢者の疑似体験や福祉センターに来られている方との交流、午後からは交流サロンで地域の方と一緒にしゃべりをしながら手芸に取り組みました。初日の最後はドローン体験！初めてとは思えないくらい上手に操作し、災害時にどのようにドローンが役に立つのか体験してくれました。2日目は災害時等に使用する段ボールベッドの組み立て体験やつばき作業所さんのプチ運動会への参加、社会福祉協議会の職員との振り返りを行いました。「働くってどんなこと？」「福祉のイメージって？」と色々なことを話し合いました。

自分たちが学校に行っている間、地域の人ってこんなことしてるんだ、社会福祉協議会ってこんなことしてるんだ、と身近に感じていただければ嬉しいなと思います！



令和5年 中央共同募金会会長表彰

令和5年11月15日、全国社会福祉大会において、本会前会長の田中一勲氏が、共同募金運動に長年貢献された奉仕者として、中央共同募金会会長より表彰されました。



ボランティア連絡会 河南ブロック交流会

10月17日(火)大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会に参加してきました。今年は河内長野市にあるイズミヤゆいテラスかわちながで開催されました。まず、河内長野市社協の事務局長の河浦さまより災害ボランティアの実体験やボランティアセンター運営や組織間の連携等について貴重なお話をお伺いしました。天災を防ぐことはできないけれど起きた災害を最小限の被害に抑えることはできます。それはこれまでに起きた災害を忘れることなく日々の備えがいかに大事かということを改めて気づかされた機会となりました。後半はテーブルのグループごとに日頃の活動や情報交換などを行い、最後は市町村ビンゴゲームをして楽しい時間を過ごさせていただきました。



災害支援ボランティア登録にご協力ください

昨今の自然災害は、いつどこでどんな規模で発生するか予想がつきにくく、“想定外”の規模も珍しくありません。太子町社会福祉協議会では、過去のさまざまな災害を教訓に、平常時から災害支援ボランティア登録を実施し、災害発生時にはできるだけ早期に活動を開始できる体制づくりを進めています。

ボランティア登録していただいている方に対し、太子町内での活動はもとより、町外、府外の災害情報や、ボランティアバス・ボランティアワゴン運行の際の情報を発信し、スピーディーに災害支援ボランティアを集結し被災地支援活動を行っていきたいと考えています。ぜひ災害支援ボランティアへの登録をお願いいたします。



◆登録方法

所定の登録用紙に必要事項を記入のうえ太子町社協まで提出してください。

◆お問い合わせ 太子町社会福祉協議会 (☎：98-1311・FAX：98-2111)

令和6年能登半島地震義援金の募集

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

地震、津波等の影響により、石川県、富山県、新潟県などで人的及び家屋への甚大な被害が発生し、複数県の市町村に災害救助法が適用されました。

これに伴い、日本赤十字社および中央共同募金会では被災地支援の一環として、義援金を募集しております。皆さま方からお寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災地が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。

詳細については、下の二次元コードからご確認ください。か、太子町社会福祉協議会 (☎98-1311) までお電話でお問合せください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



令和5年度 防災研修会

大きな災害とともに始まった令和6年。毎年のように発生している水害に加えて、南海・東南海地震が発生することが予測されています。幸い太子町では、ここ80年以上大きな人的被害を伴う災害は発生していませんが、決して他人事で済ませられることではありません。

そこで、未曾有の大災害となった東日本大震災で被災者となり、復興にも携わった元石巻市社会福祉協議会の職員を講師に招き、日ごろからの備えやご近所づきあいの大切さなどについて考えましょう。

日 時：令和6年2月22日(木) 13:30～15:00
23日(金・祝) 10:30～12:00

※研修内容は2日間とも同じ内容です。

場 所：太子町立万葉ホール（太子町山田104-1）

テーマ：「東日本大震災を振り返る」
～ その時、何を考えたか ～

講 師：一般社団法人
BIGUP 石巻 代表理事 阿部 由紀 氏



講師紹介：



1988年雄勝町社会福祉協議会に入職。2005年の市町合併により石巻市社会福祉協議会の職員となる。東日本大震災以降は、災害ボランティアセンターの担当者、災害復興支援対策課長補佐、地域福祉課長補佐、復興支援課長、生活支援課長・ボランティアセンター長を歴任後退職。現在は毎年起こる災害支援活動、県外での石巻物産展事業、子ども食堂事業、子ども職業体験事業、町内会の側面支援などの事業を展開する法人の代表理事として活躍。



太子町生きがい人材センターでは、 令和6年度新規会員を募集しています

募集内容 おおむね60歳以上の方で、葉刈機・草刈機の使用、および高所作業の可能な方
※申込時に、健康診断書の提出をお願いします。
※普通自動車免許をお持ちの方。

募集期間 令和6年3月22日(金)まで
※土、日、祝日を除く午前9時から午後5時まで

申込方法 町立総合福祉センター内、太子町社会福祉協議会事務局までお越しください。
※所定の申込書に必要事項を記入していただきます。



心配ごと相談

・相談日
毎月10・25日
(但し、土曜日の場合前日)
(日曜日の場合翌日)

・相談員 民生委員児童委員・主任児童委員
社会福祉協議会職員
・相談時間 午後1時30分～3時
・場 所 太子町役場1階相談室

編集後記

“ふれあい”第125号をお届けします。

太子町社会福祉協議会に、福祉に関することでご意見がありましたら、どんなことでも結構です。

“皆様の声をお寄せ下さい”

TEL 98-1311 FAX 98-2111

この広報紙の発行には赤い羽根共同募金配分金の一部を活用しています。